

『俳句甲子園』における審査基準（2018年度版）

『俳句甲子園』は教育の場として開催運営されています。

審査員は、以下の方法および評価基準に従って審査して下さい。

● 「俳句甲子園」における評価

- ① 審査員は、各自が採点した 「作品点」 「鑑賞点」 の合計によって、紅白どちらかのチームの旗を上げて下さい。
- ② 合計点が同点の時は、「作品点」の高いチームに旗を上げて下さい。

● 作品点

- ① 作品点は10点満点の絶対評価です。以下の評価基準にしたがって採点して下さい

※評価基準は、『俳句甲子園』に毎年寄せられる投句を蓄積分析し、項目立てたものです。俳句甲子園の進化によって、評価基準も進歩していくものと考えます。

- 1点… 兼題が全く詠み込まれていない。
- 2点… 兼題は詠み込まれているが、基礎的知識（五七五の間を空ける分ち書き、兼題以外に季語が二つ以上入る極端な季重なり等）が著しく欠けている。
- 3点… 兼題は詠み込まれているが、俳句の基礎的知識に不足が見られる。
- 4点… 兼題を説明しただけに終わっている。
- 5点… 強い類想感がある。あるいは、句意が判然としない。
- 6点… 類想が懸念されたり、句意が読み取り難いきらいはあるが、ひとまず句として成立している。
- 7点… 作品としての強い魅力があるわけではないが、技術的には可も不可もなく成立している。あるいは、荒削りで難はあるが、発想にみるべき点がある。
- 8点… 芸術的にも技術的にも、積極的評価ができる。
- 9点… 8点の要素に加えて、強い芸術的魅力がある。
- 10点… 歴代の最優秀句に匹敵する秀句である。

- ② 高校生たちは審査員の点数を、次なる学びの評価と受け止めます。大会を通じて、審査員それぞれが一貫した絶対評価を実行して下さい。

- ③ 『俳句甲子園』はあくまでも俳句の大会ですので、作品点が高い方が勝つという考え方が基本です。作品点が同点の場合に、「鑑賞点」が勝敗を左右することになります。
- ④ 高校生たちの質疑応答や鑑賞を聞いて、「作品点」を下げるのは避けて下さい。あくまでも提示された作品についての絶対評価を入れて下さい。自チームの句についての鑑賞の不備は、そのチームの「鑑賞点」に反映させて下さい。

- ⑤ 高校生の作品には、文語表現、口語表現、あるいは自由律を意識した作品もあります。審査員の作風を押し付けることなく、様々な表現への挑戦を肯定的に評価して下さい。

●鑑賞点

- ① 鑑賞点は、鋭い質問、的確な反論、豊かな鑑賞等についての評価です。
 ② どちらか優れていた方のチームにだけ、「1〜2点」を加点する**相対評価**です。加点の評価は、以下の基準に従って下さい。

1点： 自チームの句に対する鑑賞がよりの確にできた。相手チームの句の特徴や改善点をよりの確に指摘できた。

2点： 1点の要素に加え、相手チームがほとんど発言できない、あるいは有効な発言がほとんどなかった。

- ③ 両チーム五人の総力を合わせての評価です。発言者が何人いたかは、評価の対象ではありません。質疑応答の内容そのものを吟味して下さい。

●参考資料

「作品点」10点の目安となる歴代の最優秀句は、以下の通りです。

第20回 旅いつも雲に抜かれて大花野	岩田 奎 (開成高等学校)
第19回 豚が鳴く卒業の日の砂利踏めば	池内 嵩人 (愛媛県立松山中央高等学校)
第18回 号砲や飛び出す一塊の日焼	兵頭 輝 (愛媛県立宇和島東高等学校)
第17回 湧き水は生きてゐる水桃洗ふ	大橋 佳歩 (愛知県立幸田高等学校)
第16回 夕焼や千年後には鳥の国	青本 袖紀 (広島県立広島高等学校)
第15回 月眩しプールの底に触れてきて	佐藤 雄志 (開成高等学校)
第14回 未来もう来ているのかも蝸牛	菅 千華子 (神奈川県立厚木東高等学校)
第13回 カルデラに湖残されし晩夏かな	青木 智 (開成高等学校)
第12回 琉球を抱きしめにゆく夏休み	中川 優香 (熊本県立菊池高等学校)
第11回 それぞれに火花を待つてゐる呼吸	村越 敦 (開成高等学校)
第10回 山頂に流星触れたのだからか	清家 由香里 (愛知県立幸田高等学校)
第9回 宛先は多のころぐさが知つてをる	本多 秀光 (愛媛県立宇和島東高等学校)
第8回 土星より薄に届く着信音	堀部 葵 (京都市立紫野高等学校)
第7回 かなかなや平安京が足の下	高島 春佳 (京都市立紫野高等学校)
第6回 小鳥来る三億年の地層かな	山口 優夢 (開成高等学校)
第5回 夕立の一粒源氏物語	佐藤 文香 (愛媛県立松山東高等学校)
第4回 カンバスの余白八月十五日	神野 紗希 (愛媛県立松山東高等学校)
第3回 裁判所金魚一匹しかをらず	菅波 祐太 (愛光高等学校)
第2回 朝顔の種や地下鉄乗り換えぬ	森川 大和 (愛光高等学校)
第1回 秋立ちて加藤登紀子が愛歌う	白石 ちひろ (愛媛県立松山中央高等学校)